

30 畜産・酪農の生産力強化

【2, 568 (258) 百万円】

対策のポイント

酪農経営における受精卵移植・性判別技術等を活用した和牛主体の肉用子牛の生産拡大及び優良な乳用種後継雌牛の確保、和牛繁殖経営におけるICT等の新技術を活用した繁殖性の向上等の取組や研究開発により、畜産・酪農の生産力強化を図ります。

<背景／課題>

- ・ 大家畜経営の高齢化・離農等による生産基盤の縮小が懸念される中、
 - ① 和牛繁殖経営においては、繁殖成績の低下等により、和子牛の生産が減少し、
 - ② 酪農経営においても、交雑種の生産が増加する一方で、乳用種後継雌牛が減少しています。
- ・ このため、畜産・酪農の生産力を強化するためには、和牛繁殖経営の繁殖性の向上と和牛主体の肉用子牛の生産拡大や肥育経営のコスト削減による経営改善、優良な乳用種後継雌牛の確保等を通じた酪農経営の収入増を推進していくことが必要です。

政策目標

- 生乳の生産量 (745万t (平成25年度) → 750万t (平成37年度))
- 牛肉の生産量 (51万t (平成25年度) → 52万t (平成37年度))

<主な内容>

1. 畜産・酪農生産力強化対策事業[新規] 1, 976 (一) 百万円

(1) 酪農経営改善対策

酪農経営における和牛主体の肉用子牛の生産拡大や優良な乳用種後継雌牛の確保等を進めるため、畜産クラスター計画に基づく以下の取組を支援します。

- ① 和牛受精卵を活用した和子牛生産の拡大、性判別受精卵・精液を活用した優良な乳用種後継雌牛の確保等の経営改善に向けた計画的な取組
- ② 和牛受精卵等の生産拠点の機器整備
- ③ 性判別精液生産機器等の導入
- ④ 受精卵移植技術の高位平準化のための実技研修会等の開催

(2) 肉用牛繁殖性向上対策

畜産クラスター計画に基づき、和牛繁殖経営におけるICT等の新技術を活用した繁殖性の向上等を図るための取組（発情発見装置の導入等）を支援します。

（補助率：定額、1／2以内）
事業実施主体：民間団体、生産者集団等）

2. 和牛・生乳の生産拡大を支える研究開発（委託プロジェクト研究）

593 (258) 百万円

分娩後の卵巣・子宮機能の早期回復、精液の高品質化を通じた受胎率の向上、泌乳量の平準化を通じた生涯乳量の向上等のための技術開発を推進します。

（生産現場強化のための研究開発（受胎率向上のための研究開発）
（酪農の生産性向上・省力化のための技術開発）
委託費
委託先：民間団体等）

（お問い合わせ先：
1の事業 生産局畜産振興課 (03-6744-2587)
2の事業 技術会議事務局研究統括官（食料戦略、除染）
(03-3502-2549)）

畜産・酪農の生産力強化

1. 畜産・酪農生産力強化対策事業〔新規〕

- 和牛繁殖経営においては、高齢化の進展や繁殖成績の低下等により和子牛の生産が減少しており、酪農経営においても、交雑種の生産が増加する一方で、乳用種後継雌牛が減少
- このため、受精卵移植・性判別技術等を活用し、和子牛の生産拡大等及び優良な乳用種後継雌牛の効率的な確保を図る取組等を推進

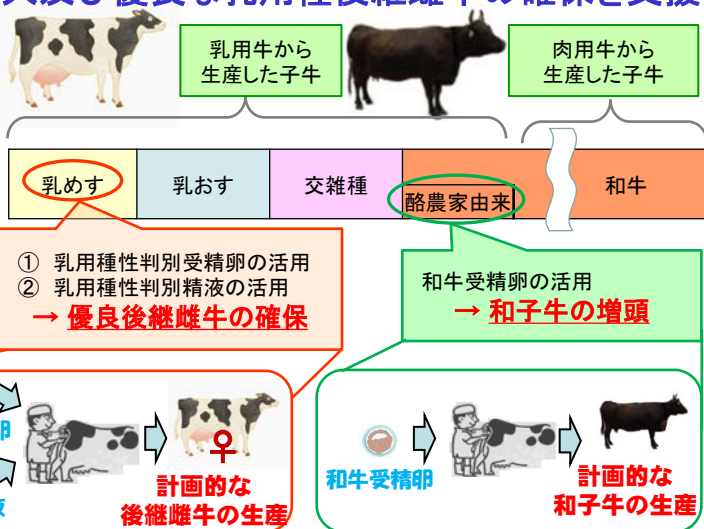
■ 和牛主体の肉用子牛の生産拡大及び優良な乳用種後継雌牛の確保を支援

- 和牛受精卵を活用した和子牛生産の拡大、性判別受精卵・精液を活用した優良後継雌牛の確保等の経営改善に向けた計画的な取組

補助率1/2以内。ただし、

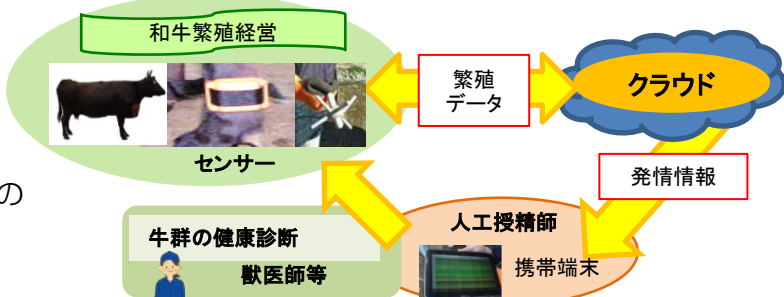
- ・乳用牛性判別受精卵：1頭当たり上限100,000円
- ・乳用牛性判別精液：1頭当たり上限6,000円
- ・和牛受精卵：1頭当たり上限70,000円

- 和牛受精卵等の生産拠点の機器整備
- 性判別精液生産機器等の導入
- 受精卵移植技術の高位平準化のための実技研修会等の開催



■ ICT等を活用した繁殖性の向上等を図るための取組を支援

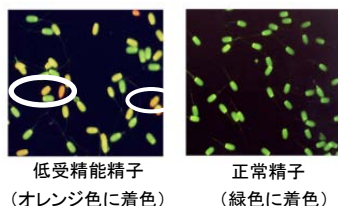
- 繁殖雌牛の歩数や体温等から人工授精の適期等を判断するための機器の導入
- 人工授精に関する情報等をクラウド上に蓄積し、飼養管理の改善・指導に活用



2. 和牛・生乳の生産拡大を支える研究開発(委託プロジェクト研究)〔拡充〕

■ 分娩後の繁殖機能の早期回復、受胎率の向上、生涯乳量向上等のための研究開発を推進

- 高い受精能力を有する精液をより高精度に判別する技術の開発



- 泌乳前期の過度な泌乳を抑制して乳牛の健全性を高め、泌乳期間を延長する技術の開発

乳用牛の泌乳期間の延長(平均1産の増加)

